

株式会社家具工房ゆうき

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>株式会社家具工房ゆうき 木材を扱う企業ができる SDG's</p> <p>【社会貢献の一つとして】 当工房では、中学生向けに行われる「職場体験学習」の事前学習として行われる「働く人から学ぶ（進路学習）」の教壇で「木工製品の職人として」講演をさせていただいております。「モノづくり、興味のある事、チャレンジ精神に国境もジェンダーも関係ありません。」 「木の起源とはなにか・・・」「仕事とはなにか・・・」 を問いかけながら生徒自身で考える知る力を養わせる事で将来の人材育成を積極的に進め、物を大事にする文化を育て、 る話しをさせていただいています。</p> <p>【技術革新と環境への取り組みとして】 日本は国土の2/3を森林が縮めています。 しかし国内の森林経営は荒れ果ててしまっています。 国の有効な木材資源を活かすべく自社商品の開発を進め令和3年に特許を申請しました。 木材製品による新しい発想が認められ「特許」を取得。（特許第6893059号） 非静電性である木材に対しての技術革新により、プラスチックなどの石油化学製品が主力でしかなかった分野に進出することが出来ます。 さらなる取り組みとして、限りある資源を大切に使うために長年使い続けた無垢材の家具や テーブルをリサイクルし再利用。 新しい家具につくり出す取り組みをしています。 使えないサイズの木材を無駄にすることなく、ボールペン、万年筆などの小物を製作を行い、使う捨てるのではなく、末永くお使いいただける商品販売する新規事業を始めましております。 これに伴い海や陸の地球環境を守り、国内産業基盤を生み出し、国内雇用を安定させる事ができるよう取り組んでいます。</p> <p>【社内での取り組みとして】 自社で行う製品塗装の石油由来塗料を天然由来自然塗料に切り替え80%（ガラス含む）製品出荷時プラスチックなどの梱包材使用から、リサイクルの毛布で包み発送し回収して繰り返し使う事で約70%プラスチック減少。 弊社事務所工場の照明を約90%をLED照明しCO2削減への取り組み ファクシミリ受信時に印刷を行わず、内容を確認し、PC保存か印刷を選択する事でコピー用紙を約60%減少</p>			
		目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済	8、9	木材資源を活かし国内産業を増やす	自然の恵みである木材を使ったオリジナル商品開発を2030年には15%増やし、生産性を10%増やす
	社会	5	性別にとらわれない教育・雇用	女性技術者を2030年までに1名以上増加させ、性別問わず産休育児休介護休を30%増加させる
環境	13	二酸化炭素削減 地球温暖化	プラスチックなどの梱包材使用減少 現在2021年プラスチックなどの梱包材使用率30%から2030年までに10%まで減らす	